

シラバス「音楽Ⅲ」

教科	芸術科(音楽Ⅲ)	単位数	2単位	学年・組	3年1～4組 自由選択
使用教科書	音楽Ⅲ(教育出版)				
副教材等	MUSIC NOTE 九州高等学校音楽教育研究会 編 (啓隆社) 高校生の歌集 つどい 九州高等学校音楽教育研究会 編 (啓隆社)				

1. 学習の目標

- ①音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- ②感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。
- ③自己のイメージを表現するための技能を身につけ、それを生かして創造的に表現することができる。
- ④多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞することができる。

2. 学習の計画

学期	月	配当時間	教材	指導目標	備考	
一学期	4	2	オリエンテーション	音楽Ⅲの授業内容について Music Noteの活用方法	基礎資料アンケート実施	
		4	楽しい童謡ーピアノで 弾き語りをしてみようー	選択した曲を、表現の意図を持って創造的に弾き語りをする学習に、主体的に取り組む	授業に積極的に取り組んでいる	
	5		ぞうさん／どんぐりころころ／思い出のアルバム【1～2曲選択】		【関心・意欲・態度】	
		4	アンサンブル ・Ave Maria ・宇宙戦艦ヤマト (ア・カペラ)	曲種に応じた発声の工夫 歌う楽しさを感じ取らせる 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫 ア・カペラを通して音程感やアンサンブル力を身に付ける	実技テスト 【音楽表現の創意工夫】	
	6	2	音楽理論 ・音程 ・コード理論	音楽の諸要素について学習する 長・短・完全・増・減音程を理解する 簡易な和声の仕組みについて理解する	ノート提出 【関心・意欲・態度】	
		7	8	外国語の語感を生かした歌唱の工夫 ・Die Forelle ・Nina ・Tu lo sai ・Ici-bas	ドイツ語・イタリア語・フランス語の発音や言葉の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解しながら工夫して個性豊かに歌う	響きある発声を心がける 実技テスト実施(歌唱) 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】
			4	舞台芸術 ・オペラ「トゥーランドット」	オペラの音楽から喚起されたイメージや感情を、音楽の構成や特徴などを基にして考え、音楽の美しさや豊かさを味わって鑑賞する	DVD鑑賞 感想文提出 【鑑賞の能力】
二学期	9	8	弾き語りの魅力 ・ふるさと ・桜の栞 ・卒業写真 ・残酷な天使のテーゼ	弾き語りの演奏形態の特徴を理解し、表現上の効果を生かして個性豊かに表現する	選択した楽曲の音楽的な特徴を生かし個性豊かに表現する 【音楽表現の技能】	
			10			

		8	音素材を生かしたアンサンブルづくり	音素材を生かして、動機の特徴や反復、変化、対照などの構成を工夫し個性豊かに音楽をつくる	どのように音楽をつくるか表現意図を持っている 【音楽表現の創意工夫】
	11	2	音楽理論 ・フルスコア等	様々な譜表の読み方を学び理解する 音楽の諸要素の学習	ノート提出 【関心・意欲・態度】
	12	10	混声合唱の響きを求めて ・混声4部合唱曲	発声の基礎を充実し、歌詞を吟味し、表現の工夫をする 独自またはグループの特性を生かし、クラスコンサートに向けて選曲し、表現の工夫の楽しさを味わう	実技テスト実施(各自パートを歌唱) 【音楽表現の技能】 【音楽表現の創意工夫】
三学期	1 2 3	10	クラスコンサートに向けて	独自またはグループの特性を生かして選曲し、アンサンブルの楽しさや表現の工夫の楽しさを味わう 他のグループとの比較鑑賞を行い鑑賞の能力を高めステージマナーや時間の芸術である音楽の楽しさ厳しさを味わう	実技テスト実施 相互評価をさせる 【鑑賞の能力】 【音楽表現の技能】 【音楽表現の創意工夫】
		4	音楽の解釈と指揮者の役割 ・いざたて戦人よ	音楽を形作っている要素を生かし楽曲の表現内容を総合的に理解して個性豊かに表現する	意図を持って表現している 【音楽表現の創意工夫】

3. 評価規準・評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽を愛好し、音や音楽に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージをもち、創造的な表現をするための技能を身につけている。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。
授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 (観察・聴取)	実技課題進捗状況 (実技テスト) 学習の取り組み状況 (観察・聴取)	学習プリント

学習の取り組み状況(観察・聴取)、実技課題進捗状況、学習プリント、ペーパーテスト、実技テスト授業態度を総合的に判断して決定します。

4. 担当者より

- ・音楽Ⅰ・Ⅱを基礎として、さらに深く音楽表現を追求したい生徒のために、さまざまな角度からアプローチを行うことで感性を高め、より充実した音楽の世界を体験させたいと思います。
- ・3学期にクラスコンサートを実施しています。表現領域の最終発表の場としてのコンサートを生徒自身の手で企画・実施させたいと考えています。
- ・進路で音楽関係への進学を考えている生徒は、専門的な受験対策が必要です。早い時期に相談をしてください。